

K-9: 11月9日(日) (15:50 ~ 16:50)

<p>タイトル</p>	<p>コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築 ~公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり~</p>
<p>講演者</p>	<p>森 雅志(もり まさし)氏</p>
<p>講師紹介</p>	<p>富山県 富山市長</p> <p>1952年8月13日生まれ。中央大学法学部卒。 1995年4月、富山県議会議員に初当選。 2002年1月に旧富山市長に、2005年4月に新富山市長に初当選。以後、富山市政を担う。</p> <p>「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を基本政策に、人口減少時代にあっても魅力あるまちづくりを推進するとともに、若者たちが将来の暮らしに希望を持てるよう、20年後、30年後の世代にも評価される施策をぶれずに進めていくことに全力で取り組む。</p> <p>好きな言葉は、「知行合一」(行動が伴わなければ、真に知っているとは言えないこと)。</p> <p>趣味は、雑文を書くこと、登山、韓国語会話、イタリア語会話、サクソ演奏など。休日には乗馬やヨットを楽しむなど富山の豊かな自然を満喫して過ごす。</p>
<p>概要</p>	<p>富山市は2008年に政府より全国で初めて環境モデル都市に指定され、2011年には環境未来都市として、2012年にはOECD(経済協力開発機構)によりメルボルン・バンクーバー・パリ・ポートランドといった世界の名だたる都市とならんでコンパクトシティの世界先進モデル都市に選出されました。現在では再生可能エネルギーの活用や交通体系の整備、そしてコンパクトシティの実現を通じ、2050年までに50%のCO2削減を目標に掲げています。</p> <p>ともすれば欠点とも捉えられかねない点も含め、自らの外的・内的要因を分析し、競争力の源泉を見極めた上でひとつの構想として紡ぎ上げ、世界の都市の魁として、スマートシティへのひとつのアプローチ、インタープリテーションであるコンパクトシティを実現した富山市。どのような分析により何が明らかになったか、そしてそれをどのように捉え直すことにより、どのようなチャンスが見えてきたか。そして今後何を目指すのか。</p> <p>すでに都市として、プロジェクトの複合体として、ワンステージ上に昇華した富山市の過去から未来へ繋がる構想とその源泉、そして実施面における障害やその解決への取り組みなど、このPMI Festaに参加するワンステージ上を目指すPMにとって、学ぶところは多いはずです。</p> <p>PMI Festa 2014の最終講演は、2002年より4期連続で富山市長を務められている森雅志様をお招きしてご講演いただきます。</p>

